

事 務 連 絡
令和 4 年 12 月 23 日

都道府県薬剤師会
事務局 生涯学習担当者 様

日本薬剤師会
事務局 学術業務課

生涯学習支援システム JPALS 実践記録 STEP 2 「PS 登録」について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 4 年 10 月 4 日付日薬業発第 247 号でご案内いたしました通り、本会で作成している「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（Professional Standard, 以下 PS）」が令和 5 年 1 月 11 日より JPALS 上で「PS（令和 4 年度版）」に切り替わります。「PS（令和 4 年度版）」では、これまで領域 2「医薬品の適正使用」のみに設定していた「小領域」を全領域に設定し、学習する領域がより分かりやすい指標となっています。

ご承知の通り、JPALS の実践記録提出は、STEP 1「実践記録を行う」、STEP 2「PS 登録を行う」、STEP 3「確認・日薬へ提出」と進み、STEP 4 で「実践記録完了」となります。今般の「PS（令和 4 年度版）」改訂に伴い、STEP 2「PS 登録」の際、5 つの領域ごとに小領域から PS を検索することが可能となりました。つきましては、JPALS 利用者が学習した内容に該当する PS を選択しやすいよう、小領域からの PS 検索方法について資料を作成いたしました（別紙 1）。

また、「旧 PS（平成 23 年度版）」が「PS（令和 4 年度版）」のどの「小領域」に該当するかが分かるようお示しいたしましたので併せてお知らせいたします（別紙 2）。

なお、こちらの資料は、令和 5 年 1 月 11 日に JPALS 上に掲載を行うとともに、JPALS 利用者には別途メールでお知らせいたしますことを申し添えます。

 別紙 1：実践記録 STEP 2「PS 登録」は小領域から検索しましょう！

 別紙 2：「旧 PS」と「令和 4 年度版 PS の小領域」対応早見表

別紙 1

実践記録 STEP 2 「PS 登録」は小領域から検索しましょう！

「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード (PS)」が令和 5 年 1 月 11 日より「令和 4 年度版」に切り替わりました。

これまで領域 2「医薬品の適正使用」のみに設定していた「小領域」を全領域に設定し、学習する領域がより分かりやすい指標となるよう工夫いたしました。

実践記録 STEP 2 では、PS の登録が必須となりますので、ご自身の学習した内容がどの PS に該当するかについて、小領域から検索し PS 登録を行ってください。

検索方法は以下よりご確認ください。

実践記録STEP 2 PS登録方法

1. 学習した内容が5つの領域の中でどこに該当するか確認し、領域を選択。

領域1：ヒューマニズム

領域2：医薬品の適正使用

領域3：地域住民の健康増進

領域4：リスクマネジメント

HOME > 実践記録

検証 開発さん 一般
前回ログイン日時
2023/01/13 15:25
ポートフォリオ利用期限
2024/01/12
あなたのクリニカルラー
レベル 1
1年目
CLレベル更新履歴

ポートフォリオ
プレチェック
計画
実践記録
myノート

STEP1 実践記録を行う
STEP2 PS登録を行う
STEP3 確認・日報へ提出
STEP4 実践記録完了

PS登録

学習内容に当てはまるPSを選択してください。
実践記録を日本薬剤師会に提出する場合は、その学習内容にあった「PS登録」が必須です。

学習内容が各領域のPSに該当しない場合は、「その他」のPSを選択してください。
「その他」を検索するには、『キーワード』に「その他」と入力するか、『領域』で「99.その他(該当しない)」を選択し、『検索』をクリックしてください。

入力した実践記録に該当するPSを絞り込むことができます。

領域 1. ヒューマニズム(倫理)(0/6/51)
小領域 全て
学習 全て
キーワード
ソート順 No(昇順)
検索

CLレベル 全て

2. 小領域を選択

HOME > 実践記録

検証 開発さん 一般
前回ログイン日時
2023/01/13 15:25
ポートフォリオ利用期限
2024/01/12
あなたのクリニカルラー
レベル 1
1年目
CLレベル更新履歴

ポートフォリオ
プレチェック
計画
実践記録
myノート

STEP1 実践記録を行う
STEP2 PS登録を行う
STEP3 確認・日報へ提出
STEP4 実践記録完了

PS登録

学習内容に当てはまるPSを選択してください。
実践記録を日本薬剤師会に提出する場合は、その学習内容にあった「PS登録」が必須です。

学習内容が各領域のPSに該当しない場合は、「その他」のPSを選択してください。
「その他」を検索するには、『キーワード』に「その他」と入力するか、『領域』で「99.その他(該当しない)」を選択し、『検索』をクリックしてください。

入力した実践記録に該当するPSを絞り込むことができます。

領域 1. ヒューマニズム(倫理)(0/6/51)
小領域 全て
学習 全て
キーワード
ソート順 No(昇順)
検索

CLレベル 全て

2. 小領域のプルダウンをクリック
→その領域に該当する小領域一覧が表示されます

3. 「検索」をクリック。

4. 学習した内容に該当するPSを選び「学習した」にチェック

※PS一覧は複数ページあります。該当するPSが見当たらない場合は、画面下部「次へ」をクリックして検索してください。

HOME > 実習指導

検証 開発さん
一観
前回ログイン日時
2023/01/13 15:26
ポートフォリオ利用期限
2024/01/12
あなたのユニカルカラー

レベル 1
1年目

GLレベル更新履歴

ポートフォリオ

> プレチェック

> 計画

> 実習記録

> myノート

> PS学習状況確認

> e-ラーニング受講

> 研究倫理e-ラーニング受講

> Webテスト

> チャレンジ国試

> 専門分野別学識試験

メニュー

> JPALS利用料支払い

> HOME

> 早わかり！JPALS

> ご利用ガイド

> 登録内容変更

> よくある質問

> お問い合わせ

> ログアウト

STEP1
実習記録を
行う

STEP2
PS登録を
行う

STEP3
確認・日進へ
提出

STEP4
実習記録
完了

PS登録

学習内容に当てはまるPSを選択してください。
実習記録を日本薬剤師会に提出する場合は、その学習内容に合った「PS登録」が必須です。

学習内容が各領域のPSに該当しない場合は、「その他」のPSを選択してください。
「その他」を検索するには、『キーワード』に「その他」と入力するか、『領域』で「99.その他(該当しない)」を選択し、「検索」をクリックしてください。

入力した実習記録に該当するPSを取り込むことができます。

領域 1. ヒューマニズム(倫理)(0/0/51)

小領域 生命倫理

学習 全て

キーワード

ソート順 No(昇順)

検索

プレチェックの結果は、本画面では表示されません。
プレチェックと、本画面で行ったチェックを合わせた結果の最新情報は、「PS学習状況」に反映されます。

領域: 1. ヒューマニズム(倫理)

最初へ 前へ 1 2 次へ 最後へ

到達目標	GLレベル	学習した	最終学習日時
1-1-1. 薬剤師として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識できる	1	☐	-
1-1-2. 薬剤師として、社会のニーズを把握できる	3	☐	-
1-1-3. 薬剤師として、社会のニーズに対応できる	3	☐	-
1-1-4. 薬剤師業務を説明できる	1	☐	-
1-1-5. 薬剤師行動規範を説明できる	1	☐	-
1-1-6. 医療人として一般的な倫理規範を説明できる	3	☐	-
1-1-7. 医療倫理の歴史(ヘルシンキ宣言・ヒポクラテスの誓い等)を概説できる	1	☐	-
1-1-8. 医療の理念と薬剤師の責務を説明できる	1	☐	-
1-1-9. 医療にかかわる倫理的問題を列挙し、説明できる	4	☐	-
1-1-10. 薬剤師にかかわる倫理的問題を討議できる	4	☐	-
1-1-11. 生命科学に関する研究倫理を説明できる	2	☐	-
1-1-12. 生命倫理の原則(自律尊重、無危害、善行、正義等)を説明できる	2	☐	-
1-1-13. 人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議できる	4	☐	-
1-1-14. 自らの体験を通して、生命の尊さと医療のかかわりを討議できる	5	☐	-
1-1-15. 産生(生殖補助医療、出生前診断等)にかかわる倫理的問題を説明できる	5	☐	-
1-1-16. 医療の進歩(ゲノム医療、臓器移植、再生医療等)に伴う倫理的問題を説明できる	5	☐	-
1-1-17. 死(安楽死、尊厳死、終末期ケア等)にかかわる倫理的問題を説明できる	5	☐	-
1-1-18. 倫理的問題に直面した際の適切な対応を討議できる	5	☐	-
1-1-19. 人生の最終段階における意思決定プロセス(延命治療、リビングウィル、DNR等)を、QOLの観点から説明できる	5	☐	-
1-1-20. 心的外傷(トラウマ)、燃え尽き症候群(バーンアウト)への対処方法を説明できる	3	☐	-

最初へ 前へ 1 2 次へ 最後へ

実習記録を終了する場合、「保存して終了」ボタンをクリックしてください。
実習記録の登録に戻る場合、「STEP1に戻る」ボタンを。
実習記録を確認する場合、「STEP3へ進む」ボタンをクリックしてください。
実習記録は、自動保存されます。

※該当するPSが見当たらない場合には、「次へ」をクリックして検索しましょう。

保存して終了

STEP1に戻る

STEP3に進む

STEP1
実習記録を
行う

STEP2
PS登録を
行う

STEP3
確認・日進へ
提出

STEP4
実習記録
完了

Copyright Since 1997- © Japan Pharmaceutical Association All Rights Reserved.

別紙 2

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（PS） 「旧 PS」と「令和 4 年度版 PS の小領域」対応早見表

「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード（PS）」が令和 5 年 1 月 11 日より「令和 4 年度版」に切り替わりました。

「令和 4 年度版」においては、旧 PS で領域 2 のみに設定していた「小領域」を全ての領域に設定いたしました。そこで、これまで旧 PS を用いて学習されていた方が、迷うことなく「令和 4 年度版」をご活用いただけるように、旧 PS が「令和 4 年度版」では、どの「小領域」に該当するかお示しするため、対応早見表を作成いたしました。

本表をご活用いただき、実践記録をご作成いただければ幸いです。なお、実践記録作成の際、「小領域」で検索することもできるようになりましたので、併せてご活用ください。

※「令和 4 年度版」では新たに追加した PS もございますため、「令和 4 年度版 PS」全体は JPALS ログイン後左下「メニュー」>「早わかり！JPALS」>「プロフェッショナルスタンダード【PS】（令和 4 年度版）」をご確認ください。

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【1. ヒューマニズム(倫理)】

旧PS(平成23年度版)				PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	到達目標	CLL レベル	領域	小領域
1 1-1-1	1. 生命の尊厳を認識するために、医療人としての倫理観と責任感を身に付ける	医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識できる	1	領域1	生命倫理
2 1-1-2		医療の担い手として、社会のニーズを把握できる	3	領域1	生命倫理
3 1-1-3		医療の担い手を守るべき倫理規範を説明できる	3	領域1	生命倫理
4 1-1-4		医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案できる	5	領域1	生命倫理
5 1-1-5		医療倫理の歴史(ヘルシンキ宣言・ヒポクラテスの誓いなど)を概説できる	1	領域1	生命倫理
6 1-1-6		医療にかかわる倫理的問題を列挙できる	2	領域1	生命倫理
7 1-1-7		医療に関わる倫理的問題の概略と問題点を説明できる	4	領域1	生命倫理
8 1-1-8		薬剤師行動規範を概説できる	1	領域1	生命倫理
9 1-1-9		薬剤師綱領を概説できる	1	領域1	生命倫理
10 1-1-10		薬剤師に係わる倫理的問題について討議できる	4	領域1	生命倫理
11 1-1-11		医療法第1条の2を概説できる	1	領域5	医療法等
12 1-1-12		薬剤師法第1条について概説できる	1	領域5	薬事関連法規
13 1-1-13		人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議できる	4	領域1	生命倫理
14 1-1-14		環境に配慮する意義を考察し、討議できる	4	領域1	生命倫理
15 1-1-15		自らの体験を通して、生命の尊さと医療のかかわりについて討議できる	5	領域1	生命倫理
16 1-1-16		救命救急に薬剤師が関わる意義を説明できる	5	領域1	生命倫理
17 1-1-17		死にかかわる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)について討議できる	5	領域1	生命倫理
18 1-1-18		予防、治療、延命、QOLについて説明できる	5	領域1	生命倫理
19 1-1-19		誕生にかかわる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる	5	領域1	生命倫理
20 1-1-20		医療の進歩(遺伝子診断、遺伝子治療、移植、再生医療、難病治療など)に伴う生命観の変遷を概説できる	5	領域1	生命倫理
21 1-1-21		医療にかかわる諸問題から、自ら課題を見だし、それを解決する能力を醸成する	5	領域1	生命倫理
22 1-2-1	2. 患者中心の医療を実現するために、チーム医療の一員としての基本的な知識・技能・態度を修得する	「薬剤師の接遇マニュアル」を概説できる	1	領域1	患者・家族への心理的配慮
23 1-2-2		「薬剤師の接遇マニュアル」に基づいて行動できる	3	領域1	患者・家族への心理的配慮
24 1-2-3		「対面話法例示集」を概説できる	1	領域1	患者・家族への心理的配慮
25 1-2-4		「対面話法例示集」に基づいて行動できる	4	領域1	患者・家族への心理的配慮
26 1-2-5		チームワークの重要性を例示して説明できる	1	領域1	チーム医療
27 1-2-6		薬剤師の職能を認識し、必要に応じて他職種に助言などを求めるなどの処置ができる	4	領域1	チーム医療
28 1-2-7		医療スタッフとのコミュニケーションで、お互いの情報共有と連携の重要性を討議できる	4	領域1	チーム医療
29 1-2-8		医療スタッフとのコミュニケーションで、お互いの情報共有と連携を実践できる	5	領域1	チーム医療
30 1-2-9		他職種と連携を取り、協調的態で役割を実践できる	5	領域1	チーム医療
31 1-2-10		言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる	3	領域1	チーム医療
32 1-2-11		相手の立場、文化、習慣が異なることを理解し、コミュニケーションのあり方に配慮できる	5	領域1	チーム医療
33 1-3-1	3. 患者および家族の心情を理解するために、薬剤師が担う行為の重要性を認識する	インフォームドコンセントの定義と必要性を説明できる	2	領域1	チーム医療
34 1-3-2		ファーマシューティカルケアについて説明できる	2	領域1	チーム医療
35 1-3-3		ファーマシューティカルケアに基づいて行動できる	4	領域1	チーム医療
36 1-3-4		患者の心理状態を把握し、配慮できる	3	領域1	患者・家族への心理的配慮
37 1-3-5		相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
38 1-3-6		不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議できる	2	領域1	患者・家族への心理的配慮
39 1-3-7		ターミナルケアにおける薬剤師の役割について説明できる	4	領域1	患者・家族への心理的配慮
40 1-3-8		ホスピスなどの施設の意義について説明できる	3	領域1	患者・家族への心理的配慮
41 1-3-9		ターミナルケアにおける薬剤師の役割を実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
42 1-3-10		ホスピスなどの施設で薬剤師の役割を実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
43 1-3-11		疼痛緩和について説明できる	3	領域1	患者・家族への心理的配慮
44 1-3-12		疼痛緩和ケアについて実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
45 1-3-13		末期患者の精神的ケアについて説明できる	4	領域1	患者・家族への心理的配慮
46 1-3-14		末期患者の精神的ケアについて実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
47 1-3-15		認知症のケアについて説明できる	4	領域1	患者・家族への心理的配慮
48 1-3-16		認知症のケアについて実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【1. ヒューマニズム(倫理)】

旧PS(平成23年度版)				PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域一般目標-到達目標	一般目標	到達目標	CLLレベル	領域	小領域
49 1-3-17	3. 患者および家族の心情を理解するために、薬剤師が担う行為の重要性を認識する	対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる	4	領域1	患者・家族への心理的配慮
50 1-3-18		病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
51 1-3-19		患者および家族の心理状態を把握し、配慮できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
52 1-3-20		患者やその家族のもつ価値観が多様であることを認識し、総合的に実践できる	5	領域1	患者・家族への心理的配慮
53 1-3-21		臨床心理学の必要性について説明できる	4	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
54 1-3-22		交流分析の必要性について説明できる	4	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
55 1-3-23	4. 患者が自分の疾患に正面から向き合い、治療に積極的に取り組めるようサポートするための知識・技能・態度を身に付ける	家族力学について理解し、実践できる	5	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
56 1-4-1		病名を宣告された患者や家族の心理状態について配慮できる	3	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
57 1-4-2		簡易的なカウンセリングスキルについて説明できる	4	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
58 1-4-3		患者やその家族の話を傾聴することができる	3	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
59 1-4-4		患者やその家族が持つ精神的な問題点を把握することができる	5	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル
60 1-4-5		患者やその家族が、直面する問題に前向きに対処できるようサポートできる	5	領域1	患者・家族へのカウンセリングスキル

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)】

旧PS(平成23年度版)					PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	小領域	到達目標	CLL レベル	領域	小領域
2-1-1	1. 患者の利益を最大限に守るため、医薬品情報収集の手段を整備し信頼性の高い情報の収集・加工・活用の方法を身につける	医薬品情報	様々な情報源とその特徴について説明できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-2		医薬品情報	情報収集に必要な設備について説明できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-3		医薬品情報	情報通信機器を利用した文献検索の手順を列挙できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-4		医薬品情報	情報通信機器を利用して医薬品に関する最新情報を収集できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-5		医薬品情報	情報通信機器を活用した医療および医薬品情報を適切に収集できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-6		医薬品情報	当該医薬品の最新の添付文書およびインタビューフォームが収集できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-7		医薬品情報	当該医薬品および類似化合物に関する臨床報告を収集できる	4	領域2	医薬品情報
2-1-8		医薬品情報	医療用医薬品と要指導医薬品及び一般用医薬品の違いを説明できる	1	領域2	医薬品情報
2-1-9		医薬品情報	要指導医薬品及び一般用医薬品に配合されている薬物を調べ、その薬効を説明できる	2	領域2	医薬品情報
2-1-10		医薬品情報	当該医薬品の費用対治療効果比を調べて説明できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-11		医薬品情報	医療情報の信頼性やエビデンスレベルについて説明できる	2	領域2	医薬品情報
2-1-12		医薬品情報	医療情報の信頼性やエビデンスレベルを検証できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-13		医薬品情報	質の高い医療情報に基づいて適切な薬剤を提案できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-14		医薬品情報	医薬品の臨床報告(和文)の内容を簡潔に説明できる	2	領域2	医薬品情報
2-1-15		医薬品情報	医薬品の臨床報告(英文)の内容を簡潔に説明できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-16		医薬品情報	学術および医学専門用語の意味を調べて説明できる	2	領域2	医薬品情報
2-1-17		医療統計	2つの変量の相関関係を定量的に説明できる	5	領域2	医療統計
2-1-18		医療統計	基本的な統計学を理解し、平均値と標準偏差の意味を説明できる	4	領域2	医療統計
2-1-19		医療統計	統計手法を用いる2つの平均値の有意差検定について詳しく説明できる	5	領域2	医療統計
2-1-20		医療統計	分散分析と多重比較について詳しく説明できる	5	領域2	医療統計
2-1-21		医療統計	正規分布を前提としない検定法について説明できる	5	領域2	医療統計
2-1-22		医薬品情報	添付文書やインタビューフォームの記載事項を、種々の学術情報の収集分析を通じて独自に検証できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-23		医薬品情報	MRの提供情報を種々の学術情報の収集分析を通じて独自に検証できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-24		医薬品情報	医薬品情報に対し、目的に応じた適切な取捨選択が行える	5	領域2	医薬品情報
2-1-25		医薬品情報	複数の学術資料を比較し、医薬品情報の信頼性や対立情報の有無を検証できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-26		医薬品情報	体系的に収集・整理した医薬品情報の提供を、他の医療スタッフに対し適切に行える	5	領域2	医薬品情報
2-1-27		医薬品情報	体系的に収集・整理した医薬品情報を勉強会や学術集会で説明できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-28		医薬品情報	医薬品の市販後(市販直後)調査の手順を説明できる	3	領域2	医薬品情報
2-1-29		医薬品情報	患者の求めに応じ、医薬品情報を適切に説明できる	3	領域2	医薬品情報
2-1-30		医薬品情報	医療スタッフの求めに応じ、医薬品情報を適切に説明できる	3	領域2	医薬品情報
2-1-31		医薬品情報	直面する医薬品の調剤学的、製剤学的問題点について改善方法を提案できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-32		医薬品情報	医薬品の調剤学的、製剤学的問題点の解決法を提案できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-33		医薬品情報	直面する医薬品の生物薬剤学的、薬理学的問題点について改善方法を提案できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-34		感染対策	無菌操作と無菌製剤について説明できる	4	領域2	感染対策
2-1-35		感染対策	無菌操作と無菌製剤を適切に行える	5	領域2	感染対策
2-1-36		医薬品情報	保険診療における医薬品の保険適用について説明できる	3	領域2	医薬品情報
2-1-37		医薬品情報	添付文書の併用注意に関する情報の取捨選択が、その重要度に応じて行える	3	領域2	医薬品情報
2-1-38		感染対策	院内感染の標準的予防策(スタンダードプリコーション)を説明できる	4	領域2	感染対策
2-1-39		感染対策	院内外および地域における感染事例の情報を医療スタッフに適切に説明できる	4	領域2	感染対策
2-1-40		感染対策	代表的な消毒薬を列挙できる	1	領域2	感染対策
2-1-41		感染対策	代表的な消毒薬の使用法を説明できる	3	領域2	感染対策
2-1-42		感染対策	消毒対象に応じた適切な消毒薬の選択と消毒方法を提案できる	5	領域2	感染対策
2-1-43		感染対策	病原体の主な感染源と感染経路を列挙できる	3	領域2	感染対策
2-1-44		感染対策	院内感染の感染経路別対策について説明できる	4	領域2	感染対策
2-1-45		医薬品情報	未知(未経験)の症例に対し、知識と経験と最新の医薬品情報に基づいて、具体的方策を提案できる	5	領域2	医薬品情報
2-1-46		PK/PD	母集団薬物動態学の概念と応用について説明できる	4	領域2	PK/PD
2-1-47		PK/PD	母集団薬物動態パラメーターを用いて、投与量の妥当性を評価できる	5	領域2	PK/PD
2-2-1	2. 患者の利益を最大限に守るため、医薬品適正使用に必要な学問的知識・技能・態度を身につける	医薬品情報	一般名に対応する後発医薬品について列挙できる	1	領域2	医薬品情報
2-2-2		医薬品情報	後発医薬品の選択を明確な理由に基づいて行える	3	領域2	医薬品情報
2-2-3		循環器	心臓および血管系における代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	循環器
2-2-4		循環器	不整脈の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	循環器
2-2-5		循環器	不整脈の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	循環器
2-2-6		循環器	不整脈に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	循環器
2-2-7		循環器	心不全の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	循環器

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)】

旧PS(平成23年度版)					PS(令和4年度版) 該当領域・小領域		
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	小領域	到達目標	CLL レベル	領域	小領域	
55	2-2-8	2. 患者の利益を最大限に守るため、医薬品適正使用に必要な学問的知識・技能・態度を身につける	循環器	心不全の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	循環器
56	2-2-9		循環器	心不全に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	循環器
57	2-2-10		循環器	虚血性心疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	循環器
58	2-2-11		循環器	虚血性心疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	循環器
59	2-2-12		循環器	虚血性心疾患に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	循環器
60	2-2-13		循環器	高血圧の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	循環器
61	2-2-14		循環器	高血圧の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	循環器
62	2-2-15		循環器	高血圧に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	循環器
63	2-2-16		消化器	消化器系(胃・十二指腸、小腸・大腸、肝臓・胆道、膵臓)における代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	消化器
64	2-2-17		消化器	消化性潰瘍の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	消化器
65	2-2-18		消化器	消化性潰瘍の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	消化器
66	2-2-19		消化器	消化性潰瘍に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	消化器
67	2-2-20		消化器	炎症性腸疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	消化器
68	2-2-21		消化器	炎症性腸疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	消化器
69	2-2-22		消化器	炎症性腸疾患に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	消化器
70	2-2-23		消化器	腸炎の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	消化器
71	2-2-24		消化器	腸炎の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	消化器
72	2-2-25		消化器	腸炎に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	消化器
73	2-2-26		内分泌	肝炎・肝硬変の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	消化器
74	2-2-27		内分泌	肝炎・肝硬変の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	消化器
75	2-2-28		内分泌	肝炎・肝硬変に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	消化器
76	2-2-29		内分泌	膵炎の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	消化器
77	2-2-30		内分泌	膵炎の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	消化器
78	2-2-31		内分泌	膵炎に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	消化器
79	2-2-32		泌尿器	腎臓および尿路における代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	泌尿器
80	2-2-33		泌尿器	腎不全の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	泌尿器
81	2-2-34		泌尿器	腎不全の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	泌尿器
82	2-2-35		泌尿器	腎不全に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	泌尿器
83	2-2-36		泌尿器	ネフローゼの病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	泌尿器
84	2-2-37		泌尿器	ネフローゼの病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	泌尿器
85	2-2-38		泌尿器	ネフローゼに関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	泌尿器
86	2-2-39		生殖器	生殖器に関する代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	男性生殖器、産科・婦人科
87	2-2-40		呼吸器	肺および気道における代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	呼吸器
88	2-2-41		呼吸器	喘息および肺気腫の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	呼吸器
89	2-2-42		呼吸器	喘息および肺気腫の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	呼吸器
90	2-2-43		呼吸器	喘息に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	呼吸器
91	2-2-44		内分泌	ホルモン産生臓器にかかる代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	内分泌
92	2-2-45		内分泌	脳下垂体に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
93	2-2-46		内分泌	脳下垂体に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
94	2-2-47		内分泌	甲状腺に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
95	2-2-48		内分泌	甲状腺に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
96	2-2-49		内分泌	性腺に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	男性生殖器、産科・婦人科
97	2-2-50		内分泌	性腺に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	男性生殖器、産科・婦人科
98	2-2-51		内分泌	副腎に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
99	2-2-52		内分泌	副腎に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
100	2-2-53		内分泌	糖尿病とその合併症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
101	2-2-54		内分泌	糖尿病とその合併症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
102	2-2-55		内分泌	糖尿病とその合併症に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	内分泌
103	2-2-56		内分泌	脂質代謝異常症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
104	2-2-57		内分泌	脂質代謝異常症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
105	2-2-58		内分泌	脂質代謝異常症に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	内分泌
106	2-2-59		内分泌	高尿酸血症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	内分泌
107	2-2-60		内分泌	高尿酸血症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	内分泌
108	2-2-61		内分泌	高尿酸血症と痛風に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	内分泌

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)】

旧PS(平成23年度版)					PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	小領域	到達目標	CLL レベル	領域	小領域
109	2-2-62	神経	神経および筋に関する代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	神経
110	2-2-63	神経	神経および筋に関する代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	神経
111	2-2-64	神経	神経および筋に関する代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	神経
112	2-2-65	神経	脳血管疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	循環器
113	2-2-66	神経	脳血管疾患の代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	循環器
114	2-2-67	神経	てんかんの病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	神経
115	2-2-68	神経	てんかんの病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	神経
116	2-2-69	神経	てんかんに関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	神経
117	2-2-70	精神	代表的な精神疾患を列挙できる	2	領域2	精神
118	2-2-71	精神	統合失調症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	精神
119	2-2-72	精神	統合失調症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	精神
120	2-2-73	精神	統合失調症に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	精神
121	2-2-74	精神	うつ病、躁うつ病の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	精神
122	2-2-75	精神	うつ病、躁うつ病の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	精神
123	2-2-76	精神	うつ病、躁うつ病に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	精神
124	2-2-77	皮膚・感覚器	耳鼻咽喉に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	皮膚・感覚器
125	2-2-78	皮膚・感覚器	耳鼻咽喉に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	3	領域2	皮膚・感覚器
126	2-2-79	皮膚・感覚器	皮膚疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	皮膚・感覚器
127	2-2-80	皮膚・感覚器	皮膚疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	3	領域2	皮膚・感覚器
128	2-2-81	皮膚・感覚器	眼に関する疾患の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	皮膚・感覚器
129	2-2-82	皮膚・感覚器	眼に関する疾患の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	3	領域2	皮膚・感覚器
130	2-2-83	整形	骨、関節に関する代表的な疾患を列挙できる	2	領域2	整形
131	2-2-84	整形	骨粗鬆症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	整形
132	2-2-85	整形	骨粗鬆症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	3	領域2	整形
133	2-2-86	整形	骨粗鬆症に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	整形
134	2-2-87	整形	関節リウマチの病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	整形
135	2-2-88	整形	関節リウマチの病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	3	領域2	整形
136	2-2-89	整形	関節リウマチに関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	整形
137	2-2-90	免疫系	代表的なアレルギーおよび免疫に関する疾患を列挙できる	2	領域2	免疫系
138	2-2-91	免疫系	アナフィラキシー・ショックの病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	免疫系
139	2-2-92	免疫系	アナフィラキシー・ショックの病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	免疫系
140	2-2-93	免疫系	アナフィラキシー・ショックに関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	免疫系
141	2-2-94	免疫系	後天性免疫不全症の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	免疫系
142	2-2-95	免疫系	後天性免疫不全症の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	免疫系
143	2-2-96	免疫系	後天性免疫不全症に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	免疫系
144	2-2-97	免疫系	移植に関連して使用される薬物について列挙できる	2	領域2	免疫系
145	2-2-98	悪性腫瘍	癌性疼痛に対して使用される薬物について列挙できる	2	領域2	悪性腫瘍
146	2-2-99	感染症	主な感染症の病態と原因を説明できる	3	領域2	感染症
147	2-2-100	感染症	代表的な抗菌薬を体系的に分類し、抗菌スペクトルと作用機序を説明できる	3	領域2	感染症
148	2-2-101	感染症	薬剤耐性獲得の仕組みについて説明できる	4	領域2	感染症
149	2-2-102	感染症	代表的な抗真菌薬の作用機序を説明できる	3	領域2	感染症
150	2-2-103	感染症	代表的な抗ウイルス薬の作用機序を説明できる	3	領域2	感染症
151	2-2-104	悪性腫瘍	臓器別悪性腫瘍の病態生理と代表的な治療薬を列挙できる	2	領域2	悪性腫瘍
152	2-2-105	悪性腫瘍	臓器別悪性腫瘍の病態生理ならびに代表的な治療薬の作用機序を説明できる	4	領域2	悪性腫瘍
153	2-2-106	悪性腫瘍	臓器別悪性腫瘍に関する最新の学術情報や治療薬情報に基づいて治療指針を提案できる	5	領域2	悪性腫瘍
154	2-2-107	悪性腫瘍	代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる	2	領域2	悪性腫瘍
155	2-2-108	悪性腫瘍	代表的な抗悪性腫瘍薬の作用機序と臨床応用を詳しく説明できる	5	領域2	悪性腫瘍
156	2-2-109	栄養	栄養障害の病態生理と代表的な治療(対応)法を列挙できる	2	領域2	栄養
157	2-2-110	栄養	経腸栄養療法および代表的な栄養剤について説明できる	4	領域2	栄養
158	2-2-111	栄養	経腸栄養療法の管理と合併症について説明できる	4	領域2	栄養
159	2-2-112	栄養	静脈栄養療法および代表的な栄養剤について説明できる	4	領域2	栄養
160	2-2-113	栄養	静脈栄養療法の管理と合併症について説明できる	4	領域2	栄養
161	2-2-114	栄養	在宅栄養療法について説明できる	4	領域2	栄養
162	2-2-115	皮膚・感覚器	褥瘡の治療法について説明できる	4	領域2	皮膚・感覚器

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)】

旧PS(平成23年度版)					PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	小領域	到達目標	CLL レベル	領域	小領域
163	2. 患者の 利益を最大限に守るため、医薬品適正使用に必要な学問的知識・技能・態度を身につける	皮膚・感覚器	褥瘡の程度に応じて治療法を提案できる	5	領域2	皮膚・感覚器
164		漢方・漢方薬	陰陽五行説などの漢方の基本理論を簡単に説明できる	2	領域2	漢方・漢方薬
165		漢方・漢方薬	代表的な漢方方剤の構成とその作用を説明できる	4	領域2	漢方・漢方薬
166		医薬品情報	EBMの基本概念と有用性について説明できる	4	領域2	医薬品情報
167		PK／PD	薬物の用量と作用の関係について説明できる	3	領域2	PK／PD
168		PK／PD	薬物の体内動態と薬効の関係について説明できる	3	領域2	PK／PD
169		PK／PD	薬物の代表的な投与経路について、それぞれの特徴を説明できる	3	領域2	PK／PD
170		PK／PD	経口投与薬物の吸収に影響を与える因子を列挙できる	1	領域2	PK／PD
171		PK／PD	経口投与薬物の吸収に影響を与える因子の作用機序について説明できる	4	領域2	PK／PD
172		PK／PD	薬物の脳移行性と脳血液関門の特徴を説明できる	4	領域2	PK／PD
173		PK／PD	薬物の胎児移行性について説明できる	1	領域2	PK／PD
174		PK／PD	薬物と血漿タンパク質との結合と薬効の関係について説明できる	4	領域2	PK／PD
175		PK／PD	薬物と血漿タンパク質との結合と薬物の組織移行性の関係について説明できる	4	領域2	PK／PD
176		PK／PD	薬物の代謝様式と主要な代謝酵素について説明できる	4	領域2	PK／PD
177		PK／PD	薬物の主要排泄経路と排泄様式について説明できる	1	領域2	PK／PD
178		PK／PD	薬物の初回通過効果について説明できる	1	領域2	PK／PD
179		PK／PD	薬物の初回通過効果の変動因子について詳しく説明できる	5	領域2	PK／PD
180		PK／PD	薬物の肝クリアランスについて説明できる	4	領域2	PK／PD
181		PK／PD	薬物の腎クリアランスについて説明できる	4	領域2	PK／PD
182		PK／PD	薬物の血中濃度推移と全身クリアランス、分布容積について説明できる	4	領域2	PK／PD
183		PK／PD	反復投与時の薬物血中濃度推移について説明できる	4	領域2	PK／PD
184		PK／PD	TDMの意義について説明できる	3	領域2	PK／PD
185		PK／PD	TDMのデータに基づいて適正な投与方法について提案できる	5	領域2	PK／PD
186		PK／PD	薬物の体内動態と作用発現に影響を与える遺伝的素因について説明できる	4	領域2	PK／PD
187		小児	新生児、乳幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を列挙できる	1	領域2	特殊集団
188		小児	新生児、乳幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる	3	領域2	特殊集団
189		小児	新生児、乳幼児、小児に対する薬物治療で適用外もしくは未確立のものについて、その有効性を客観的に評価し、エビデンスとして提案できる	5	領域2	特殊集団
190		高齢者	高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を列挙できる	1	領域2	特殊集団
191		高齢者	高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる	3	領域2	特殊集団
192		妊婦・授乳婦	妊婦に対する薬物治療で注意すべき点を列挙できる	1	領域2	特殊集団
193		妊婦・授乳婦	妊婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる	3	領域2	特殊集団
194		妊婦・授乳婦	妊婦に対する薬物治療で適用外もしくは未確立のものについて、その有効性を客観的に評価し、エビデンスとして提案できる	5	領域2	特殊集団
195		妊婦・授乳婦	授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を列挙できる	1	領域2	特殊集団
196		妊婦・授乳婦	授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる	3	領域2	特殊集団
197		泌尿器	腎臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を列挙できる	2	領域2	特殊集団
198		泌尿器	腎臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を説明できる	4	領域2	特殊集団
199		内分泌	肝臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を列挙できる	2	領域2	特殊集団
200		内分泌	肝臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を説明できる	4	領域2	特殊集団
201		循環器	心臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を列挙できる	2	領域2	特殊集団
202		循環器	心臓疾患を伴った患者に対する薬物治療における注意点を説明できる	4	領域2	特殊集団
203		薬学的ケア	期待する効果が現れない、もしくは不十分である場合の対処法について提案できる	5	領域2	薬学的介入
204		薬学的ケア	医薬品適正使用の観点から、未知(未経験)の症例に対する薬物使用に関する最善の策を、知識と経験に基づいて提案できる	5	領域2	薬学的介入
205	3. 患者の 利益を最大限守るために、重篤な副作用や相互作用について理解する	薬学的観察	患者とのコミュニケーションを通して、不適切な服薬状況を見出せる	3	領域2	薬学的観察
206		薬学的観察	患者とのコミュニケーションを通して、栄養障害の兆候を見出せる	4	領域2	薬学的観察
207		薬学的観察	患者とのコミュニケーションを通して、不適切な薬理効果を見出せる	4	領域2	薬学的観察
208		薬学的観察	患者とのコミュニケーションを通して、副作用発現の兆候を見出せる	4	領域2	薬学的観察
209		薬学的観察	患者とのコミュニケーションを通して、薬物相互作用の兆候を見出せる	4	領域2	薬学的観察
210		薬学的観察	診療記録や看護記録、検査所見などから、薬効や副作用、相互作用に関する情報を収集できる	3	領域2	薬学的観察
211		薬学的観察	医療スタッフが日常使用している専門用語を正確に説明できる	3	領域2	薬学的観察
212		薬学的観察	医療スタッフとの情報交換を通じ、重篤な副作用の初期症状を見出せる	4	領域2	薬学的観察
213		薬学的観察	医療スタッフとの情報交換を通じ、医薬品の薬効に関する学術的考察ができ、それを科学的根拠として提案できる	5	領域2	薬学的介入
214		薬学的観察	医療スタッフとの情報交換を通じ、医薬品の副作用発現の可能性を見出せる	4	領域2	薬学的観察
215		薬学的観察	医療スタッフとの情報交換を通じ、副作用を見出せる	4	領域2	薬学的観察
216		薬学的観察	医療スタッフとの情報交換を通じ、医薬品の副作用発生の学術的考察ができ、それを科学的根拠として提案できる	5	領域2	薬学的介入

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

<「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表>

【2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性)】

旧PS(平成23年度版)					PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域— 一般目標— 到達目標	一般目標	小領域	到達目標	CLL レベル	領域	小領域
217 2-3-13	3. 患者の 利益を最 大限守る ために、重 篤な副作 用や相互 作用につ いて理解 する	PK／PD	医療スタッフとの情報交換を通じ、薬物相互作用の可能性を見出せる	4	領域2	薬学的観察
218 2-3-14		PK／PD	医療スタッフとの情報交換を通じ、薬物相互作用を見出せる	4	領域2	薬学的観察
219 2-3-15		PK／PD	医療スタッフとの情報交換を通じ、薬物相互作用発生の学術的考察ができ、それを科学的根拠として提案できる	5	領域2	薬学的介入
220 2-3-16		副作用	心臓・血管系疾患に使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
221 2-3-17		副作用	消化器系疾患に使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
222 2-3-18		副作用	腎臓・尿路系疾患に使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
223 2-3-19		副作用	精神神経疾患に使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
224 2-3-20		副作用	代謝性疾患に使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
225 2-3-21		副作用	産科婦人科領域で使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
226 2-3-22		副作用	小児科領域で使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
227 2-3-23		副作用	老年科で使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
228 2-3-24		副作用	外科・整形外科形成外科領域で使用される薬物に関する代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
229 2-3-25		副作用	抗菌薬の代表的な副作用とその兆候を説明できる	3	領域2	副作用
230 2-3-26		副作用	抗悪性腫瘍薬の代表的な副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
231 2-3-27		副作用	代表的な外用薬に関する副作用とその兆候を説明できる	3	領域2	副作用
232 2-3-28		副作用	代表的な漢方薬・漢方製剤に関する副作用とその兆候を説明できる	4	領域2	副作用
233 2-3-29		副作用	代表的な医薬品の適用症例を列挙できる	2	領域2	医薬品情報
234 2-3-30		副作用	代表的な漢方薬・漢方製剤の用法・用量を列挙できる	2	領域2	漢方・漢方薬
235 2-3-31		薬学的ケア	不適切な処方について、その理由を説明できる	2	領域2	薬学的観察
236 2-3-32		薬学的ケア	不適切な処方について、適切な事例もしくは代替案を提案できる	5	領域2	薬学的介入
237 2-3-33	3. 患者の 利益を最 大限守る ために、重 篤な副作 用や相互 作用につ いて理解 する	副作用	相互作用および副作用の回避策を列挙できる	4	領域2	副作用
238 2-3-34		副作用	相互作用および副作用の回避策を、過去の事例や資料、および患者の状態を勘案して提案できる	5	領域2	副作用
239 2-3-35		副作用	医薬品の有害作用について、患者の心情に配慮して説明できる。	5	領域2	副作用
240 2-3-36		副作用	医師に対し、予測される、もしくは生じている医薬品の有害作用に関する報告が行える	4	領域2	副作用
241 2-3-37		副作用	医師に対し、予測される、もしくは生じている医薬品の有害作用を適切に説明できる	5	領域2	副作用
242 2-3-38		副作用	副作用および薬物相互作用の疑いのある事例について、公的機関への報告が行える	4	領域2	副作用
243 2-3-39		副作用	相互作用と副作用の観点から、未知(未経験)の症例に対する最善の策を、知識と経験に基づいて提案できる	5	領域2	副作用

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【3. 地域住民の健康増進(薬物乱用防止、セルフメディケーション)】

旧PS(平成23年度版)				PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域・一般目標・到達目標	一般目標	到達目標	CLLレベル	領域	小領域
1 3-1-1	1. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、疾病とその予防に対する基本的な知識・技能・態度を身につける	セルフメディケーションの必要性を適切に説明できる	1	領域3	健康増進
2 3-1-2		セルフメディケーションのための健康食品を適切に提案できる	3	領域3	健康増進
3 3-1-3		要指導医薬品及び一般用医薬品の第一類、二類、三類について概説できる	1	領域3	健康増進
4 3-1-4		セルフメディケーションのための要指導医薬品及び一般用医薬品を適切に提案できる	3	領域3	健康増進
5 3-1-5		飲酒と喫煙が健康に及ぼす影響について説明できる	2	領域3	健康増進
6 3-1-6		禁煙指導ができる	5	領域3	健康増進
7 3-1-7		食生活が健康に及ぼす影響を説明できる	3	領域3	健康増進
8 3-1-8		食育の必要性を説明できる	3	領域3	健康増進
9 3-1-9		健康食品による有害作用を説明できる	3	領域3	健康増進
10 3-1-10		食品及び健康食品と医薬品の相互作用を説明できる	3	領域3	健康増進
11 3-1-11		健康食品の最新情報を収集できる	5	領域3	健康増進
12 3-1-12		病気の予防について適切に助言できる	5	領域3	健康増進
13 3-1-13		顧客に対してわかりやすい言葉、表現を用い説明できる	3	領域3	保健相談
14 3-1-14		顧客の要望を的確に把握し、必要とする情報を提供できる	5	領域3	保健相談
15 3-1-15		医師への受診勧奨を適切に行うことができる	5	領域3	保健相談
16 3-2-1	2. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師としての地域保健活動を身につける	麻薬や覚醒剤が人体に及ぼす影響について説明できる	2	領域3	地域保健活動
17 3-2-2		学校薬剤師の役割と活動を説明できる	2	領域3	地域保健活動
18 3-2-3		学校薬剤師として活動できる	5	領域3	地域保健活動
19 3-2-4		訪問薬剤(居宅療養)管理指導業務について説明できる	2	領域3	在宅医療
20 3-2-5		訪問薬剤(居宅療養)管理指導業務を行うことができる	5	領域3	在宅医療
21 3-2-6		ドーピングとその有害作用について説明できる	3	領域3	地域保健活動
22 3-2-7		地域におけるスポーツファーマシストの役割と活動を説明できる	3	領域3	地域保健活動
23 3-2-8		地域で麻薬や覚醒剤などの薬物乱用防止のための活動ができる	5	領域3	地域保健活動
24 3-2-9		地域住民に対し医薬品の適正使用について啓発活動ができる	5	領域3	地域保健活動
25 3-2-10		話題性のある薬物についてわかりやすく説明できる	3	領域3	地域保健活動
26 3-2-11		日常生活における衛生管理の概念を説明できる	3	領域3	環境衛生
27 3-2-12		日用品に含まれる化学物質の危険性を説明できる	3	領域3	環境衛生
28 3-2-13		日用品に含まれる化学物質の危険性から回避するための方法を提案できる	5	領域3	環境衛生
29 3-2-14		誤飲や誤食による中毒に対して適切に助言できる	5	領域3	環境衛生
30 3-3-1	3. 地域住民が健康的な日常生活を送るために、薬剤師として地域福祉に貢献するための知識・技能・態度を身につける	住民の家庭環境を把握し、適切に行動できる	5	領域3	地域包括ケア
31 3-3-2		居宅老人の介護状況を把握し、適切に対応できる	5	領域3	地域包括ケア
32 3-3-3		保健福祉活動の中で他職種と連携できる	5	領域3	地域包括ケア
33 3-4-1	4. 災害緊急時に対応するために、薬剤師として必要な知識・技能・態度を身につける	心肺停止状態に対応するための基本的な知識を概説できる	2	領域3	災害・緊急時対応
34 3-4-2		心肺停止状態を判断でき、自動体外式除細動器を適切に取り扱うことができる	4	領域3	災害・緊急時対応
35 3-4-3		災害時における薬剤師の役割について説明できる	4	領域3	災害・緊急時対応
36 3-4-4		災害発生時に適切な初期行動をとることができる	5	領域3	災害・緊急時対応
37 3-4-5		災害時に備えた適切な患者指導ができる	5	領域3	災害・緊急時対応
38 3-4-6		災害・緊急時に医薬品の供給と管理について指導できる	5	領域3	災害・緊急時対応

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

<「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表>

【4. リスクマネジメント】

旧PS(平成23年度版)				PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域・一般目標・到達目標	一般目標	到達目標	CLレベル	領域	小領域
1 4-1-1	1. 国民に安心・安全な医療を提供するために、必要な医療安全対策の方法を身につける	医療過誤(事故)のレベルの分類が説明できる	2	領域4	医療安全対策
2 4-1-2		「ヒヤリハット事例」を報告できる	1	領域4	医療安全対策
3 4-1-3		医療安全に関する重要な情報を収集できる	3	領域4	医療安全対策
4 4-1-4		医薬品がもつ危険性について、説明できる	3	領域4	医療安全対策
5 4-1-5		過去に起こった医療過誤(事故)事例について、内容を説明できる	4	領域4	医療安全対策
6 4-1-6		薬剤師が取り組む医療安全対策について、意義を理解し、要点を説明できる	5	領域4	医療安全対策
7 4-2-1	2. 医療の安全性を高めるために、医療事故防止の対策を修得する	医療過誤(事故)発見時に適切に報告できる	2	領域4	医療事故発生時対応
8 4-2-2		医療過誤(事故)報告を分析し、その原因が解明できる	5	領域4	医療事故防止対策
9 4-2-3		具体的な医療過誤(事故)防止対策が提案できる	5	領域4	医療事故防止対策
10 4-2-4		実施中の医療過誤(事故)防止対策が評価できる	5	領域4	医療事故防止対策
11 4-3-1	3. 国民に安心・安全な医療を提供するために、医療過誤(事故)発生時における、適切な対処方法を身につける	医療過誤(事故)発生時の対応の流れについて説明できる	4	領域4	医療事故発生時対応
12 4-3-2		医療過誤(事故)の発見時に必要部署に報告できる	3	領域4	医療事故発生時対応
13 4-3-3		医療過誤(事故)発見時に適切に患者対応できる	5	領域4	医療事故発生時対応
14 4-3-4		医療過誤(事故)解決のため、適切に対処(行動)できる	5	領域4	医療事故発生時対応
15 4-3-5		メンタル面のフォローを含め医療過誤(事故)を起こした人に適切に対応できる	5	領域4	医療事故発生時対応
16 4-4-1	4. 医療の安全性をより高めるために、リスク管理を行う習慣を身につける	医療安全管理指針と業務手順書を理解し、遵守して業務を遂行できる	2	領域4	リスク管理
17 4-4-2		ヒューマンエラーおよびメカニカルエラーが不可避であることを認識し、それぞれの危険性について列挙できる	3	領域4	リスク管理
18 4-4-3		医療事故の起こりやすい因子について、詳しく説明できる	5	領域4	リスク管理
19 4-4-4		「薬局・薬剤師のための調剤事故防止マニュアル」を理解し、説明できる	3	領域4	リスク管理
20 4-4-5		現場に即した医療事故防止のための業務手順書を作成できる	5	領域4	リスク管理

薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード 領域別

＜「旧PS」と「令和4年度版PSの小領域」対応早見表＞

【5. 法律制度の遵守】 ※「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」を「薬機法」と記載しています。

旧PS(平成23年度版)				PS(令和4年度版) 該当領域・小領域	
領域・一般目標・到達目標	一般目標	到達目標	CLLレベル	領域	小領域
1 5-1-1	薬剤師の社会的責務を果たすために、薬剤師を取り巻く法律・制度を理解する	薬機法の重要な項目を列举できる	2	領域5	薬事関連法規
2 5-1-2		薬機法の重要な項目を説明できる	3	領域5	薬事関連法規
3 5-1-3		薬剤師法の重要な項目を列举できる	2	領域5	薬事関連法規
4 5-1-4		薬剤師法の重要な項目を説明できる	3	領域5	薬事関連法規
5 5-1-5		薬剤師に関連する法令の構成を説明できる	3	領域5	薬事関連法規
6 5-1-6		麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法等を説明できる	1	領域5	薬事関連法規
7 5-1-7		麻薬及び向精神薬取締法覚せい剤取締法等に基づき、適切な取り扱い・管理が実践できる	3	領域5	薬事関連法規
8 5-1-8		個人情報保護法について説明できる	1	領域5	その他の法規・制度等
9 5-1-9		薬剤師の基本的責任を逸脱した場合の罰則法律を説明できる	3	領域5	薬事関連法規
10 5-1-10		医療法の重要項目を列举できる	3	領域5	医療法等
11 5-1-11		医療法の重要項目を説明できる	5	領域5	医療法等
12 5-1-12		医師法の重要項目を列举できる	5	領域5	医療法等
13 5-1-13		医師法の重要項目について説明できる	5	領域5	医療法等
14 5-1-14		健康保険法の重要項目を列举できる	5	領域5	社会保障制度
15 5-1-15		健康保険法の重要項目を説明できる	5	領域5	社会保障制度
16 5-1-16		保険医療機関及び保険医療養担当規則を説明できる	3	領域5	社会保障制度
17 5-1-17		保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則を説明できる	3	領域5	社会保障制度
18 5-1-18		社会保障制度・医療保険制度を説明できる	5	領域5	社会保障制度
19 5-1-19		介護保険法の重要項目について説明できる	5	領域5	社会保障制度
20 5-1-20		調剤過誤発生時の法的責任について説明できる	4	領域5	その他の法規・制度等
21 5-1-21		処方せん偽造者及び薬剤師の間われる可能性がある責任について具体的法律を説明できる	5	領域5	その他の法規・制度等
22 5-1-22		薬事関連法規に基づき相談に対応できる	5	領域5	その他の法規・制度等